

令和元年度農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の評価概要

令和元年度農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の事業評価は、平成 28 年度に採択された 1 地区、平成 29 年度に採択された 9 地区、平成 30 年度に採択された 18 地区、令和元年度に採択された 19 地区、合計 47 地区を対象に行った。

評価は、実施主体から報告された事業実施評価書等を基に、学識経験者で構成する評価委員会の意見を聴取した上で行った。その結果、計画に定められた取組が実施され、成果を十分上げていると認められる「A 評価」が 41 地区、計画に定められた取組がおおむね実施され、成果をある程度上げていると認められる「B 評価」が 4 地区、計画に定められた目標達成が低調であり、成果を上げていると認められない「C 評価」が 2 地区となった。

本交付金及び事業を活用した取組により、地域活性化、農福連携、農泊等について推進が図られるなど、45 地区において一定の成果が発現されていると認められたが、「C 評価」とされた農泊推進対策の 2 地区においては、農山漁村振興推進計画に定められた目標の達成状況が低調であることから、今後、目標達成に至るよう重点的指導や助言等が必要である。

【令和2年度東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会の議事概要】

○第 1 回評価委員会及び現地調査

1. 日 時 令和 2 年 7 月 31 日（金）10 時 00 分から 17 時 00 分まで

2. 場 所 評価委員会 東海農政局第 3 会議室

現地調査 とこなめ農泊観光推進協議会（愛知県常滑市）、一般社団法人 はーとプロジェクト（愛知県江南市）

3. 出席者

評価委員会委員（五十音順・敬称略）

打保 由佳

中部学院大学人間福祉学部特任講師

平児 慎太郎

名城大学農学部准教授

評価委員会事務局

東海農政局担当者（農村計画課長、農村環境課長他）

4. 議事概要

(1) 評価委員会の委員長の選任

- ・ 委員の互選により、三重大学教養教育院大野院長が委員長に選任された。

(2) 評価委員会による評価の実施について

- ・ 事務局から、「評価の基本的な考え方」及び「具体的な評価方法等」について説明し、確認を行った。
- ・ 評価にあたって、先進的な取組がある場合は、総合的評価の参考とするための情報が必要であるとの要望があり、委員に対して事前に必要な情報・資料の提供を行うことについて確認した。

(3) 農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の評価対象地区の概要等について

- ・ 事務局から、当該交付金の概要並びに、評価対象 47 地区の概要について説明を行った。
- ・ 委員からは、特段の質問等はなかった。

(4) 今後のスケジュール等について

- ・ 事務局から、9 月 11 日開催の第 2 回評価委員会（評価結果のとりまとめ）に向けて、各委員による評価及び検証を依頼し、委員の了承を得

た。

5. 現地調査

- (1) とこなめ農泊観光推進協議会
 - ・ 令和元年度～令和2年度農山漁村振興交付金（農泊推進対策）実施地区
- (2) 一般社団法人 はーとプロジェクト
 - ・ 令和元年度～令和2年度農山漁村振興交付金（農福連携対策）実施地区

○第2回評価委員会

1. 日 時 令和2年9月11日（金）13時30分から15時30分まで
2. 場 所 東海農政局第1会議室
3. 出席者

評価委員会委員（五十音順・敬称略）

打保 由佳 中部学院大学人間福祉学部特任講師

大野 研（委員長）三重大学教養教育院院長

平児 慎太郎 名城大学農学部准教授

評価委員会事務局

東海農政局担当者（農村計画課長他）

4. 議事概要

(1) 評価結果のとりまとめについて

- ・ 評価対象の47地区について、各事業実施主体から提出された事業実施評価書等を基に、各委員の評価及び検証内容の確認を行い、評価委員会としての評価（ABC評価及びコメント）について議論が行われた。
- ・ 委員会では、農福連携対策については障害者雇用の考え方についての確認のほか、農泊推進対策については新型コロナウイルス影響を考慮した取組に対する評価、達成が低調であった地区への意見等について議論が行われた。その結果、「A評価」が41地区、「B評価」が4地区、「C評価」が2地区となった。
- ・ 評価の結果を踏まえ、「C評価」の実施主体に対しては、不十分だったところなどをわかりやすく伝え、目標達成につなげていくことが重要であるとの意見が出された。

(2) 評価コメントについて

- ・ 上記（1）の評価結果に基づいて、評価コメントを委員会として決定し、東海農政局長へ報告することとした。

**令和元年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)
事業実施主体 評価一覧**

●地域資源活用対策及び人材活用対策(地域活性化対策)

【(1)活動計画策定】 1件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|------------------|--------|-----|-----|----|--------|----|----|---|
| | | | | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 三重県 | 御浜町 | 尾呂志地区活性化プラン推進委員会 | ● | ● | ● | ● | ○ □ | | B | 直売所の新商品の検討、米づくりの改良試験、郷土料理の商品開発、ITを活用した情報発信等の取組による「地域おこし」、高齢者生活支援のための畦畔管理や農作物集荷に関するサービスの試行による「地域づくり」等が実施されたが、生産者の高齢化により、直売所の品不足が生じ、交流人口、売上げの実績は、平成30年度と比較し少し減少となった。 また、振興推進計画と比較して、交流人口、売上げの実績が未達成な部分はあるものの、目標達成に向けて、様々な取組みを実施しており、今後の成果が期待される。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

3件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-------|-----------|--------|----|----|----|----|----|----|---|
| | | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 美濃加茂市 | みのヤギ協議会 | ● | ● | □ | | | | A | 目標達成に向け、稲わらアート、山羊マルシェ、夏休みキッズクラブ、手土産プロジェクト、耕作放棄地農業を実施した。実施にあたり、当該協議会の構成員に加え、連携する団体及び個人が、都市との交流、地域住民との交流が生まれる場を作り、目標値を超える参加者があった。また、耕作放棄地の解消に繋がる農作物の生産から販売までを、岐阜県立加茂農林高校(食品科学科)を中心に実施しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 下呂市 | 金山のちから協議会 | ● | ● | □ | | | | A | 平成30年度策定した「金山地域の活動計画」を基に、田舎レストランJuju庵で、地域観光資源とマッチングしたセットメニューを企画販売。移住定住促進用のチラシを作成、訪れる観光客への配布や、ホームページを活用して当該地域の魅力や情報を発信。また、より良い「空き家物件」をより多く確保するための取り組みとしてセミナーを開催するなど、新たな取り組みを実施しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 多気町 | 勢和はぐくみ協議会 | | ● | ○ | ○ | | | A | 目標達成に向け、勢和地域の活動計画の策定、農村企業連携としてモニターツアーの開催、デジタルサイネージの導入、映像コンテンツの作成を実施。また、農村福祉では見守りデータベースの作成、獣害パトロールの実証実験により情報を収集。目標を達成する中でニーズが把握でき、今後の事業展開の課題も発見しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策) 事業実施主体 評価一覧

●都市農業機能発揮対策事業 1件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | 評価 | 評 価 コ メ ン ト |
|-------|------|-----|----------------|--------|----|----|----|--|
| | | | | H30 | R1 | R2 | | |
| 東海農政局 | 愛知県 | 知立市 | 知立市都市農業共生推進協議会 | ● | ● | □ | A | 実施計画に基づき都市住民と農業の共生を目指したシンポジウムを開催し、都市住民の農業への関心を高め、都市農業の役割について理解醸成を図っている。 都市農業への理解醸成のため、子育て世代には、小中高校と連携し将来の担い手にもなりうる子ども達とおして行い、それ以外の世代には、シンポジウムでの講演や交流及び食の講習会をとおして行うことにより、複数の対象へ効果的に理解を醸成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●農福連携対策(農福連携普及啓発等推進対策事業を除く)

【福祉農園等支援事業】 5件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|------------------|--------|--------|-----|----|----|----|----|--|
| | | | | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 山県市 | 株式会社 TFF | | ● ★ | ● | ■ | | | A | <p>売上げが順調な黒ニンニクは、新たに耕作放棄地を借りることで作付面積を増やして増産し、他の6次産業化商品については開発改良を行って、都市部への新たな販路を開拓した。</p> <p>加工作業においては作業方法と生産体系の改善を行った結果、障害者の技術が向上し生産量が増加した。</p> <p>また、生産工程の効率化と事業所がどのように地域と関わることが出来るのかを検討するため、生産農家、専門家を交えてワークショップを行うなど、地域特産品の生産と、担い手不足解消を図っており、成果を上げているものと認められる。</p> |
| 東海農政局 | 三重県 | 鳥羽市 | 株式会社 ファーム海女乃島 | | ● ★ | ● | ■ | | | A | <p>専門家の指導による農産物の6次産業化に向けた加工技術、販売等の習得のため研修、視察を行い、商品モニターの感想、意見による新製品の開発やエディブルフラワー(食用花)の開発とホテル、旅館等へ業務用商品として販路の拡大を図った。</p> <p>2箇所ある農作業場の役割分担を明確にすることにより、生産の効率化を図り、エディブルフラワーを使った6次産業化商品の販売を令和2年度から始める予定である。</p> <p>また、農作業場における障害者に対する作業指示等を行うサポーターの育成を行っており、成果を十分上げているものと認められる。</p> |
| 東海農政局 | 三重県 | 伊賀市 | 特定非営利活動法人 えん | | ● ★ | ● | ■ | | | A | <p>耕作放棄地の利活用として、新たな農業法人と共同で、農作業の細分化と困難な作業の簡素化を実施し、障害者、若年無業者、生活困窮者の参加により自立支援に広く携わることができた。</p> <p>また、地域の農業従事者や農業法人と共同で野菜の生産、加工、販売を手がけ、職員の資質向上のため施設内、外の研修と関連団体から、研修生を受け入れた。</p> <p>地元小学校等で総合授業の一環として、計4回、農業体験、福祉・農業に関する講義で農業の楽しさを伝えるとともに、担い手開発活動を行っており、成果を上げているものと認められる。</p> |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|------------------|--------|-----|-----|----|----|----|----|--|
| | | | | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 三重県 | 名張市 | 名張市障害者アグリ雇用推進協議会 | | ★ | ▲ | ■ | | | A | 平成29年度(1年目)に整備した休憩施設(トイレ付)を利用することにより、就労訓練をスムーズに実施することができるようになった。作業効率が上がり、効果的な就労訓練につながっている。人材育成の点では、協力農家等での実習及び特別支援学校へのジョブトレーナー派遣による実習支援を行っている。 以上よりハード面だけでなく、ソフト面も含めたバリアフリー化を推進しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 尾鷲市 | 株式会社 やきやまふあーむ | | ★ | ▲ | ■ | | | B | 平成29年度(1年目)に整備した、しいたけ菌床簡易仕込施設について、生産ロスの原因分析と種菌の変更による品質向上を目指すとともに、収穫回数増と他の野菜の生産加工で障害者スタッフの作業領域の拡大を図った。 就労継続支援A型事業所からB型事業所となった影響は大きいですが、売上げは健闘しており、今後の成果が期待される。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策) 事業実施主体 評価一覧

●農福連携対策(普及啓発等推進対策事業を除く)

10件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|------------------------|--------|----|----|----|----|--|
| | | | | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 郡上市 | 社会福祉法人 ぶなの木福祉会 | ● ★ | ● | □ | | A | 平成30年度(1年目)設置した低コスト耐候性ハウスに導入した夏秋トマト隔離型培地耕(3S)システムに苗を定植し、専門家による技術指導のもと栽培管理を実施した。しかし、高温障害を受け大半が売り物にならなかったが、アドバイザーの意見を参考に、ヘタが赤くならなかったトマトをドライトマトに加工し販売を行う等で対応するなど、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 土岐市 | 社会福祉法人 陶都会 | ● ★ | ● | □ | | A | 平成30年度(1年目)作成の作業マニュアルについて、活動実績を反映し、実用性の高いものへブラッシュアップを実施した。また、昨年に引き続き、栽培、加工、販売分野の専門家招聘による研修を開催、加工技術指導として、いちごジャムやさつまいもの干し芋、大豆からの味噌作りを行う等、スタッフが自己研鑽に励み、専門的なスキルを身に着けることで、事業推進体制の強化を図っており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 飛騨市 | 社会福祉法人 めひの野園 | ● ★ | ● | □ | | A | 作業に従事する職員及び事業所利用者の食鳥処理に関するスキルや知識の向上のため、食鳥処理衛生管理者2名(獣医師)と食鳥解体処理責任者(調理師)の指導の下、食鳥処理を学んだ。また、新商品の開発の為に助言等を調理師より受ける等、計画していた事業を遂行しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 岐阜市 | 就労支援センター ジーワ ン 株式会社 | ● ★ | ● | □ | | A | 専門家による加工技術指導(勉強会)による枝豆の播種・収穫等作業を実施した。天候不順による収穫の減少やコロナウイルスの影響で作業がストップする事もあったが、新規販路の拡大や、新たに「切干大根」の製造・販売を開始する等、成果は上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|--|--------|----|----|----|----|---|
| | | | | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 池田町 | 株式会社 ハタノ | ● ★ | ● | □ | | A | 平成30年度(1年目)に整備した農業用倉庫及び野菜洗い場、農園を利用し、本格的に野菜の栽培を開始した。近隣介護施設の利用者による耕作用業や栽培、収穫において、外に出ることへの意欲の向上や、楽しみながら体を動かすことでの機能訓練効果など、事業目的である、「農作業を用いた要介護者の機能訓練及び認知症ケア」に取り組むなど計画していた事業を遂行しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 豊橋市 | 特定非営利活動法人 クオーレ | | ● | ○ | □ | A | 農業版ジョブコーチ育成講座を開催し、15人が受講した。また、農業版ジョブコーチの派遣の準備に取り組み、人手不足で困っている農業者と農作業を行いたい福祉事業所が出会う場がない、といった諸課題の刈り取りと改善点を明確にすることができ、事業への理解が深まった。また、一人当たりの平均工賃、作業受託時間などが目標を大きく上回っており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 江南市 | 一般社団法人 はーとプロジェクト 【農業版ジョブコーチ育成・派遣 支援事業】 | | ● | ○ | □ | A | 農業版ジョブコーチ養成講座を5回開催し、最終的に42名が修了した。事業の取組が12月からであったため、農業版ジョブコーチ育成後の期間が短く、また、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大と時期が重なったため活動が制限された中で、養成講座を修了した農業版ジョブコーチ4名を6つの農業経営体及び福祉事業所の農場に派遣するなどジョブコーチ育成について、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 江南市 | 一般社団法人 はーとプロジェクト 【施設外就労コーディネーター育 成支援事業】 | | ● | ○ | □ | B | 施設外就労コーディネーター養成講座を5回開催し、最終的に20名が修了した。養成講座をPRするため、農業経営体や福祉事業所に14回訪問した。また、養成講座終了後に受講者に対して、養成講座を担当した講師が受講した受講生のもとへ出向きフォローアップを6回行った。事業の取組が12月からであったため、施設外就労コーディネーター育成後の期間が短く、また、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大と時期が重なったため活動が制限された影響もあり、障害者の雇用又は就労に結び付けることができなかったが、今後の成果が期待される。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 津市 | 一般社団法人 三重県障がい者就農促進 協議会 | | ● | ○ | □ | A | 農福連携セミナー及び、農業ジョブトレーナー養成講座(初級・上級)に、計192人の参加があり、対象地域で多方面への意識啓発ができた。その結果、農業ジョブトレーナーの育成を、予定どおり進めることができ、農業ジョブトレーナーを派遣して、施設外就労の取り組みを支援した。さらに、3福祉事業所が農業に新規参入し、就農する障害者を増やすことに繋がる等、成果を十分上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|----------------------|--------|--------|----|----|----|---|
| | | | | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 三重県 | 津市 | 一般社団法人 一志パラサポート協会 | | ● ★ | ○ | □ | A | 加工室・作業スペースを整備したことで生鮮農産物のメニューの拡大、6次産業化商品である野草茶の増産が可能となった。 また、農産物の展示商談会に参加し販路開拓・販売促進に取り組むとともに、アーモンド生産者の視察を行うなど新たな農作物の6次産業化試作に向けた取組を行っており、成果を上げているものと認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済) △・・交付対象外年度
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)
事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 23件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評 価 コ メ ン ト |
|-------|------|-----|-------------------------------|--------|-------------|----|----|----|----|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 郡上市 | 食と体験の国・めいほう推進協議会 郡上市 | ● ★ | ● ■ ★ | ◆ | | | A | ソフト事業では都市部との連携や地元食材を使った料理教室などの取組、また、ハード事業では施設整備した体験・交流スペースを活用して都市部の子どもや訪日外国人向けの地域文化体験プログラムを継続的に提供するなどの取組が行われ、ソフト事業、ハード事業ともに目標を達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 豊田市 | とよたグリーンツーリズム推進協議会 株式会社 里の館 | ● ★ | ● ■ ★ | ◆ | | | C | ソフト事業においては、SNS等を活用した情報発信、五平餅づくり体験など地元産農産物を活用した飲食、農業体験の提供、地元産の抹茶を活用した飲食メニューの開発などの取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げている。一方、ハード事業において、五平餅づくり体験など地元産農産物を活用した飲食及び農業体験を宿泊者へ提供、中国のドキュメンタリー番組の取材を通じて農泊施設の魅力を国外へPRするなどの取組を行う等、今後とも効果の持続が期待できる点は認められるものの、施設整備した古民家における体験プログラム及び飲食の売上げの達成率が低調であり、成果を上げているものと認められない。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 鳥羽市 | 相差地域海女文化活性化協議会 相差海女文化運営協議会 | ● ★ | ● ■ ★ | ◆ | | | A | ソフト事業は概ね目標を達成しており、目標達成には協議会による地域の情報共有体制の整備、海女のブランドプロモーション、専門家を活用したマーケティング情報の収集・SEO対策・WEB等でのPR実施が寄与しており、必要な取組が十分行われていた。 ハード事業は、現役海女の雇用で目標を達成するとともに、売上も概ね目標を達成している。また、事業実施主体は地域DMOに登録され、海女レストランの営業と併せ、地域の観光地経営・地域づくりにも一体的に取り組んでおり、必要な取組が十分に行われていた。 以上のように、ソフト事業、ハード事業とも、成果を上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|------|------------------------|--------|--------|-------------|----|----|----|--|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 高山市 | ふるさと体験飛騨高山 | | ● | ● ■ | | | A | 外国人対応の体験プログラムの実施、外国語版のホームページやパンフレット作成、都心の観光案内所へのPR企画などの体験型観光における外国人旅行者の受入体制の構築及び学生インターンシップの受入、受入対応時の新たな人材の育成、旅行エージェント・学校関係者への働きかけなど教育旅行受入体制の継続化など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても年次変動のある教育旅行受入れ学校数の減少により、達成率が65%程度となったが、外国人宿泊者数は大きく増加しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 中津川市 | 馬籠ルネッサンス実行委員会 | | ● | ● ■ | | | A | NPO法人馬籠村の設立、多言語翻訳機の導入、空き家・耕作放棄地等活用検討会の開催、SNSによる情報発信、研修生を雇用し、業務勉強会による人材育成を行うなど計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 美濃市 | 美濃農泊推進協議会 みのまちや株式会社 | | ● ★ | ● ■ ★ | ◇ | | A | 「手漉き和紙体験」「活版印刷」「夜網体験」の体験プログラム造成、無農薬野菜を利用した食事メニューの提供、宿泊施設の自社予約サイト製作、先進地視察など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 西尾市 | 西尾南部ベイエリア協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 体験プログラムの開発、「西尾南部ベイエリア佐久島・一色モニターツアー」の構築・販売、地場産品を活用した特産品の開発、マーケティング調査、PR動画の作成、観光案内人の育成など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 南知多町 | 南知多農泊推進協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 協議会内の体制整備、地域内の連携強化、地域交流マネジメント研修会、地域ガイド育成研修会の開催、地域食材に関する勉強会、WEBサイトによる情報発信など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|-------------------|--------|-----|--------|----|----|----|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 三重県 | 津市 | InakaTourism推進協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 欧米やアジアの旅行会社、国内旅行会社や広告代理店を招いたモニターツアーの実施、三重大学フィールドワーク受入、先進地視察、パンフレット作成、OTAサイト登録など概ね計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 尾鷲市 | 須賀利渚泊推進協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 真珠体験ツアーのPR、情報発信ツールの整備や活用によりツアー客の誘致が図られ、モニターツアーによるツアーのブラッシュアップも行われており、これらの活動は協議会の構成員が連携を図りながら進められ、目的に即した取組が実施されており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 志摩市 | 里海泊事業推進協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 観光の受け入れ体制構築に向けた住民ワークショップ等の開催、地域資源を生かした体験プログラムの開発とイベント開催・PR活動が行われ、それらの取組により、振興推進計画の目標が概ね達成されており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 伊賀市 | 株式会社 七転八倒 | | ● | ● ■ | | | C | 計画に基づく取組は実施され、取組地区の自然環境や風習等、田舎の魅力を生かした各種体験プログラム等グリーンツーリズムや環境教育における主要なコンテンツへの参加者数は概ね目標を達成していることに加え、プログラムの一つである田舎の結婚式「夢婚」などの取組は新聞等で紹介されている。こうした取組により、当地域の魅力が広く知られるようになることで、都市部と田舎を結びつけるモデル地区として、更なる発展が期待できる。しかしながら、売上げ、宿泊者数の目標について、いずれも達成率が低調であり、成果を上げているものと認められない。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 大台町 | 大台町観光DMO推進協議会 | | ● | ● ■ | | | A | 専門家のアドバイスをもとに日英言語に対応した体験プログラムの開発、顧客データベースと商品販売(EC)環境の活用など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|-------------------|--------|-----|----|--------|----|----|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 岐阜市 | 鵜飼屋の未来協議会 | | | ● | ○ □ | | A | 地域住民との意見交換会、まちづくりビジョンの策定、まち歩きツアー・川漁師体験プログラムの開発、SNSやYoutubeを活用したマーケティングなど計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認めらる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 恵那市 | 明智町門野地域農泊推進協議会 | | | ● | ○ □ | | B | 実施体制で役割分担がやや不明確な部分があるものの、SNSを活用した情報発信講座の実施、先進地視察、商品開発・磨き上げ、マーケティング活動、二次交通・城内回遊手段の確保に向けた電動レンタサイクルの導入など計画に基づく取組が実施され、また、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、今後の成果が期待される。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 郡上市 | たかす農泊実施協議会 | | | ● | ○ □ | | A | 新たな体験プログラム開発に向けた先進地視察、地元農産物を使用した食事メニューの開発、情報発信、マーケティング活動など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 豊田市 | INABUコンベンションビューロー | | | ● | ○ □ | | A | 農泊セミナーの開催、先進地視察研修、専門家による運営体制における助言・指導、SNSを利用した地域のコミュニティサイトの制作など概ね計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 愛知県 | 常滑市 | とこなめ農泊観光推進協議会 | | | ● | ○ □ | | A | 広報戦略の統一コンセプトの作成、体験型・滞在型農漁業観光交流プログラム創成、先進地視察研究、高付加価値コンテンツの研究、地元農産物を活用した食の開発など、計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|-----|------------------------------|--------|-----|----|--------|----|----|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 三重県 | 津市 | Landing in HAKUSAN | | | ● | ○ □ | | A | 農泊勉強会の開催、体験プログラムの開発、インバウンド対策ワークショップ、食の新商品開発、広域ネットワークへの参加など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 津市 | 白塚河芸地域渚泊推進協議会 | | | ● | ○ □ | | A | ワークショップの開催、先進地視察、体験メニュー開発、プロモーション活動、専門家によるインバウンド対応指導など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 伊賀市 | 忍びの里伊賀創生プロジェクト会議農泊モデル事業実施協議会 | | | ● | ○ □ | | A | 農泊経営研修会の開催、施設内案内表示、食事メニュー等の多言語化、ホームページ作成、SNSを利用した地域のコミュニティサイトの構築など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 多気町 | せいわの里まめや | | | ● | ○ □ | | A | 農村料理体験プログラムの開発、農村料理プログラム体験会の開催、宿泊環境の整備、WEBプロモーションの基盤整備など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 明和町 | めいわ農泊推進協議会 | | | ● | ○ □ | | A | 健康・アクティビティ・自然・農業・斎宮をテーマにした滞在型観光交流プログラムづくり、廃所となった保育所等を活用した農泊ビジネスの可能性調査・研究など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業)】 3件

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | | | 評価 | 評価コメント |
|-------|------|------|-------------|--------|-----|--------|----|----|----|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 中津川市 | 加子母農林泊推進協議会 | | | ● ■ | | | A | 明治座案内ビデオの多言語化、地域紹介多言語ホームページの作成、食事メニューの多言語化、トイレの洋式化、キャッシュレス決済の導入など計画に基づく取組が実施されており、訪日外国人売上高、延べ訪日外国人宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 岐阜県 | 恵那市 | 中野方農泊推進協議会 | | | ● ■ | | | A | 英語版の観光情報の作成、インバウンド向けの体験プログラムの作成、英語版の中野方町PRウェブサイトの作成、英語併記の坂折棚田案内看板・ガイドマップの作成、WiFi環境の整備など計画に基づく取組が実施されており、また、売上げ、宿泊者数の目標についても新型コロナウイルス感染症の影響をふまえて評価すると目標を達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |
| 東海農政局 | 三重県 | 大紀町 | 大紀町地域活性化協議会 | | | ● ■ | | | A | サイクルツーリズム「Taiki E-bike Tour」の開発、サイクリングガイド「エスコートライダー」の養成、トイレの洋式化、音声翻訳機「POCKETALK」の導入など計画に基づく取組が実施されており、訪日外国人売上高、延べ訪日外国人宿泊者数の目標についても達成しており、成果を十分上げているものと認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

令和元年度 都市農業機能発揮対策事業実施地区 評価結果

地区の評価結果 共生推進地域支援事業

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | | | | 総合的 評価 | 取組 状況 | 事業 実績 | 実施 体制 | 評 価 コ メ ン ト |
|-------|------|-----|--------------|-----|-----|----|-----------|----------|----------|----------|---|
| | | | | H29 | H30 | R1 | | | | | |
| 東海農政局 | 愛知県 | 豊明市 | 愛知豊明花き流通協同組合 | ● | ● | ■ | A | A | B | A | 実施計画に基づき、マルシェを開催し、名古屋周辺の都市住民に豊明産エディブルフラワーの試食や花き生産者と交流してもらうことにより、都市農業に対する関心と理解を醸成した。観賞用の花きと食べものであるエディブルフラワーを組み合わせることで、幅広い世代を対象にできた。マルシェの開催回数、参加人数及びアンケート調査部数の目標についても概ね達成しており、成果を上げているものと認められる。 |

※ 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

※ 評価の凡例： A・(優秀)、B・(良好)、C・(低調)